

# 食品の安全・安心シンポジウム ～食物アレルギー～

## 食物アレルギーに 関する取組について

県教育委員会 体育健康課

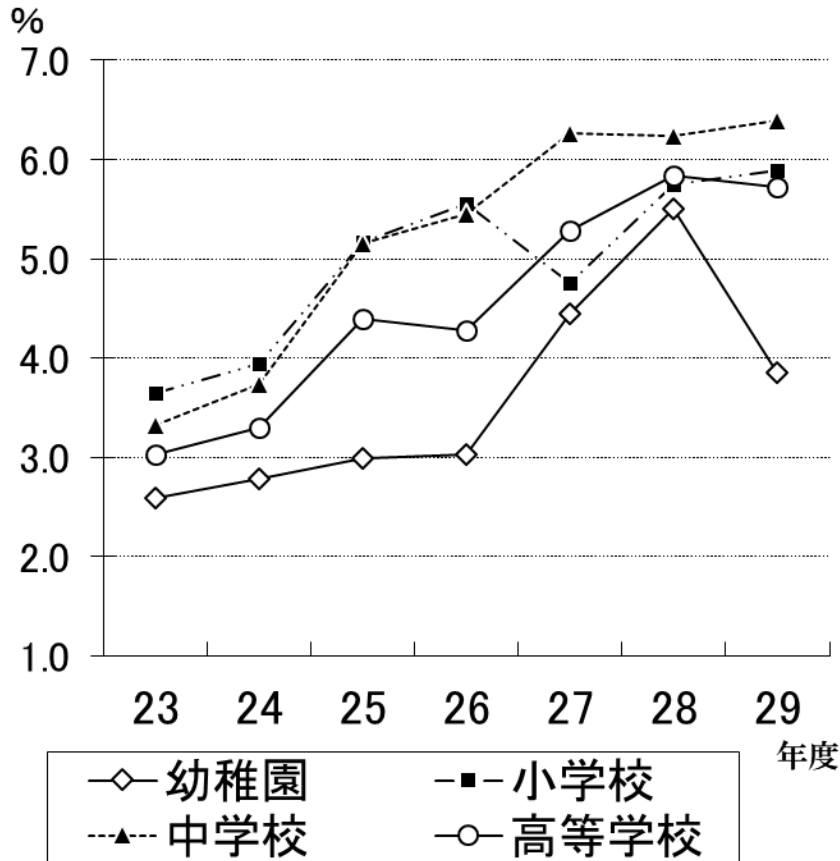


H30.11.13 in 岐阜県図書館

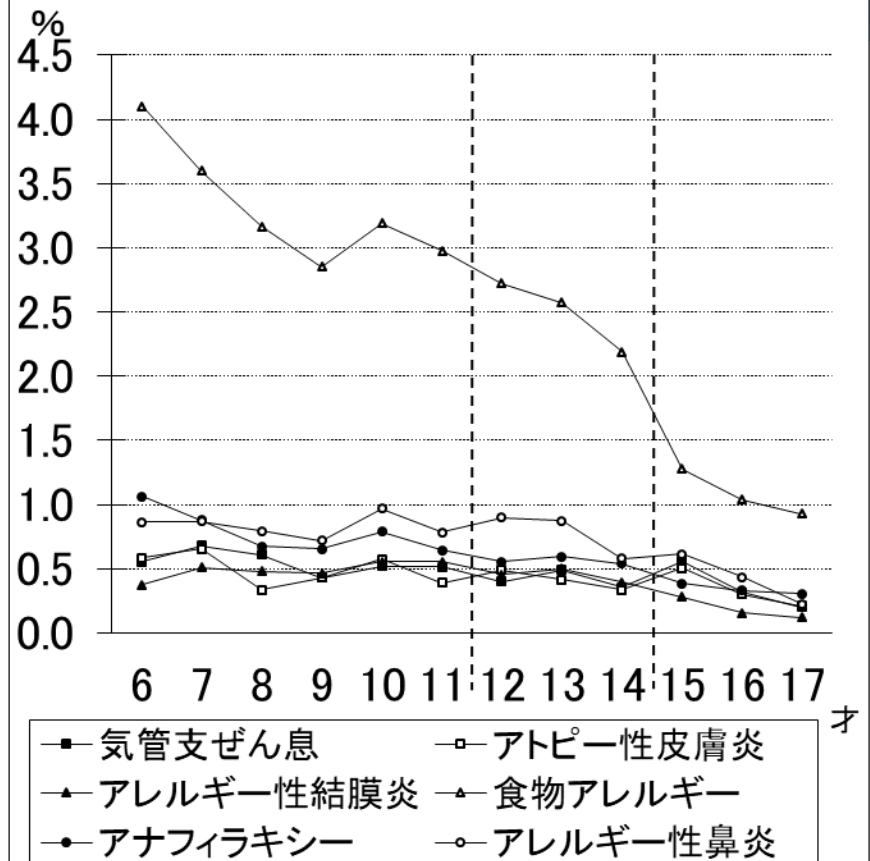
# 食物アレルギーの児童生徒

H29学校保健統計健康状態調査より

## 食物アレルギー被患率(年次推移)



## 年齢別学校生活管理指導表活用率



# 食物アレルギーに対する取組

H20 学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン

H24 調布市立小学校で食物アレルギーに起因する死亡事故

H25 日本学校保健会「食物アレルギー・アナフィラキシー対応研修会」

H26 アレルギー疾患対策基本法

H26 文部科学省「学校におけるアレルギー疾患に対する普及啓発講習会」

H26 県教委「食物アレルギー事業(専門医派遣)」

H26 県教委「学校における食物アレルギー対応の手引き」刊行

H26 県教委「食物アレルギー対応研修会」

H29 県教委「ヒヤリ・ハット事例集」刊行

継続中

児童生徒の安全・安心

# 県の事業を活用して食物アレルギー 対応研修会を実施した市町村

年度	市町村名
H28	羽島市、本巣市、羽島郡、大垣市、養老町、垂井町、関ヶ原町、池田町、揖斐川町、美濃市、多治見市、恵那市、高山市、飛騨市、白川村(15市町村)
H29	羽島市、各務原市、羽島郡、海津市、養老町、垂井町、関ヶ原町、池田町、郡上市、御嵩町、多治見市、飛騨市、白川村(13市町村)
H30	岐阜市、羽島市、各務原市、羽島郡、養老町、垂井町、関ヶ原町、大野町、池田町、御嵩町、多治見市、瑞浪市、飛騨市、下呂市、白川村(15市町村)

# 県教委に報告されたアナフィラキシーによる緊急対応事案

	報告数	幼保	小学校	中学校	高校	管理表有	エピペン使	誤飲誤食	昼食後	運動後
H26	17	0	6	9	2	10	8	0	11	12
H27	8	0	5	3	0	5	3	2	5	4
H28	6	0	1	4	1	5	3	0	5	3
H29	16	1	5	7	3	10	8	0	13	11
H30	12	0	6	5	1	8	6	0	10	8
<b>合計</b>	<b>59</b>	<b>1</b>	<b>23</b>	<b>28</b>	<b>7</b>	<b>38</b>	<b>28</b>	<b>2</b>	<b>44</b>	<b>38</b>
<b>%</b>	<b>100</b>	<b>2</b>	<b>39</b>	<b>47</b>	<b>12</b>	<b>65</b>	<b>47</b>	<b>3</b>	<b>75</b>	<b>64</b>

※H30は、H30. 10. 31現在

# A中学校の食物アレルギーによる救急搬送事例

## 【B男】

- ・ アレルゲン：卵、牛乳、チーズ（ただし今年度から解除）
- ・ 管理指導表あり
- ・ エピペン不所持

- 14:40 保健体育でシャトルラン（持久力測定検査）を行った後、しばらく休んでいたら、首元にかゆみが出始めたため、教科担任に断って、一人で歩いて保健室へ行った。
- 14:50 保健室でも、首元のかゆみだけであったが、今年度から牛乳を飲み始めたことを踏まえ、養護教諭が保護者に連絡したが、仕事が終わる15:10以降に迎えに行くと言われた。
- 14:55 しだいに声がかすれてきたため、養護教諭が教頭に連絡し、救急車を要請した。
- 15:04 救急車が到着し、養護教諭が同乗して病院へ搬送する。  
病院で診察、処置
- 16:07 病院での診察が終わり、保護者とともに帰宅した。

# 様々な事例から見られた成果と課題

## 【成果】

- ・アレルギー疾患のある・なしに関わらず、食後に症状が出た場合、養護教諭がアレルギー症状を疑い、対応している。エピペンを打つことも多い。

## 【課題】

- ・担任や教科担任が食物アレルギー及びその対応についての理解が十分とは言えない場合がある。
- ・エピペンの不所持や学校生活管理指導表がない児童生徒に対する対応が十分理解されていない。

# 今後の課題

- \* 管理指導表の有無に関わらず、昼食後の休み時間や体育には十分注意すること
- \* 養護教諭以外の職員が食物アレルギーを理解するとともに、適切にエピペンを打てるようにすること
- \* ヒヤリ・ハット事例集を活用するなど、具体的な事例を基にした各学校での研修の充実
- \* 学校と教委、地域医師会が連携し、県内全ての市町村での対応研修（幼稚園・保育所も含む）の実施